

行政視察等報告書

令和7年10月16日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名 よなご・未来

代表者氏名 国頭 靖

提出者氏名 松田 真哉

(議員の場合)

議員名



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	国頭 靖、松田 真哉、吉岡古都
期日	令和7年10月9日から令和7年10月10日まで
〔視察等年月日・場所・内容〕 令和7年10月9日 ①場所：真庭市くらしの循環センター 内容：「生ごみ等資源化・液肥濃縮プラント」について ②場所：美咲町役場 内容：「賢く収縮するまちづくり」について 令和7年10月10日 ③場所：津山市役所及びアルネ・津山 内容：「大型複合施設アルネ（市街化再開発計画）」について	

〔視察等の目的〕

- ① 生ごみ等資源化・液肥濃縮施設の見学、同市が実践する循環型社会の調査研究
- ② 将来を見据えた公共施設の集約・解体を加速させた取組みの調査研究
- ③ 過去に行った大型投資事業の経過と課題の調査研究

〔視察等要旨〕

① 従来の生ごみ資源化の取組みを市内全域に拡大。市民に市としてのSDGsの取組みが浸透しており抵抗感なく受け入れられている。新施設では生ごみから作られるバイオ液肥からさらに効果の高い「濃縮バイオ液肥」を生産することに成功しており、生ごみ処理を可能な限り自動化することにより職員の負担軽減を図るなど、国内最先端の施設であることが分かった。

② 少子高齢化・人口減少・財政規模の縮小等の課題に対し、賢く収縮しながら地域共生社会の実現を目指している。特に公共施設について再編・統廃合を加速的に実施し実質延床面積を大幅削減（△27.0%）。新築工事については設計施工一括によるプロポーザル方式を取り入れコスト削減に成功。今年度完成した庁舎や図書館が集約する多世代交流拠点施設「みさキラリ」についてもコストを抑えながら住民満足度や機能性を高める工夫がされていた。

③ 過去に同市が主体となり行った大型複合施設事業において、当初の売上目標が達成できず、抜本的な再建計画を実施中、現時点も負債が残っている。数年前には主要テナントの天満屋が3Fフロアから撤退。国の交付金を活用したテレワーク施設を整備する等しているが、空きフロアは2千㎡程度残っている。一方、市民から要望の強かった子供の遊び場整備について今年度より実証的に実施。市民から好評であり機能の充実・拡充を検討している。子供関連の行政部署の移転構想も浮かんでいる。

〔視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕

①真庭市では生ごみの資源化により、CO2削減だけでなく焼却施設の更新や維持管理費の削減も見込んでいる。バイオ液肥を利用して生産された野菜や米は市内のレストランなどで提供されている。野菜を加工する人やレストランで働く人たちが生き生きとしている様子にも触れ、地域循環共生圏を確立しつつあるだけでなく、そのことがシビックプライドに繋がっていることを実感した。効率的でないように見える手法もうまく循環経済に繋げることでまちの活力につながるというやり方は米子市でも十分導入可能と考える。

②同町に比べ本市は人口減少・高齢化による財政悪化の影響度合いはやや緩やかではあるが、将来を見据え公共施設の維持管理をいかに圧縮していくかは共通の課題と言える。今般の視察で最も参考になった点は公共施設の集約・統廃合を進めるにあたっての町長をはじめとした住民に対する行政の姿勢。「すべてを正直に、嘘をつかない。逃げない。隠さない。＋データを示す。」を基本とし、役場本庁舎等の施設整備だけでも検討委員会を12回開催、自治会等小規模な住民説明会を20回開催、旧施設の除却対応についても住民説明会を随時開催している。このような姿勢は今後、公共施設の集約・統廃合を進めるにあたって本市も参考にすべき点である。

③バブル期の事業とはいえ、事業計画の見立てが甘く、身の丈にあった投資とは言えないケースであった。本市も一般廃棄物処理場等の大規模投資を控えており、投資計画については十分精査し実現可能なものとしていく必要性を感じた。空きフロア対策のひとつとして実証中の屋内の子供の遊び場については、本市も同様の市民ニーズは高いと思慮され参考となる事案であった。また、若干条件は異なるが行政が保有する商業施設という点で米子駅前ショッピングセンターは共通しており、今後の利活用の参考にし提言に繋げたい。

経 費	旅 費	41,305円
	視察代	27,440円
	土産代	4,968円
	合 計	73,713円

(注) 氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

旅費計算表

2025/10/9 ~ 2025/10/10

月 日	区 間	鉄道路線名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	※ 運 賃 (車 賃)	グリー ン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付の額)	宿 泊 費	
							特 別	新 幹 線		14,000円 (岡山県)	
10/9	国頭議員自宅 ~ 真庭市くらしの循環セン	自家用車	85.2						1,600	9,000	
(木)	真庭市くらしの循環セン ~ 美咲町	自家用車	25.4								
	美咲町 ~ ホ テ ル	自家用車	10.4								
10/10	ホ テ ル ~ 津 山 市	自家用車	1.6								
(金)	津 山 市 ~ 国頭議員自宅	自家用車	96.4								
計	議 員 旅 費			10,600	0	0	0	0	1,600	9,000	0
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 国頭靖 吉岡古都 松田真哉

議員旅費	10,600	× 3 人 =	31,800 円
美咲町役場視察代	6,000		6,000 円
真庭くらしの循環センター視察参加料	7,000	× 3 人 =	21,000 円
真庭くらしの循環センター視察参加料振込手数料	440		440 円
高速道路料金	4,030		4,030 円
車賃	5,475		5,475 円
お土産代	4,968		4,968 円
		合計	73,713 円

※車賃5,475円(=219km×25円/1km)

岡山県真庭市、美咲町、津山市
よなご・未来会派行政視察